

稲 グ リ 新 聞

〈発行〉
早大グリークラブOB会
稲門グリークラブ
〈編集〉
加藤 晴 生 郎 豊 了
原 信 二
佐々木 川
石 川
〒192-12 武蔵村山市大南
2-26-12 額原信二郎方
TEL (0425) 65-1839
(毎月1回発行)

成功させよう、合宿(六・一七〜一八)

難曲「ウエストサイド・ストーリー」が待っている

合宿マネージャー 小俣 泰英(三三八)

第七回OB四連に向けての「強化合宿」を六月十七日(土)、十八日(日)に昨年と同様、河口湖「ロッジ・コニシ」で行います。メンバー諸兄には万難を排して参加してください。今年の曲は例年以上に難しく、複雑微妙な音程の連続、シンコペの見本みたいな

リズム、それに当然豊かな曲想が要求されます。一人でコツコツと稲グリステージの成功はこの合宿にかかっているといっても言い過ぎではないでしょう。そのためには一人でも多くの参加が必要で、昨年の参加者は延べ人数でや

稲グリ 活動日程

5月16日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場
21日(日)	"	14:00~17:00	奉仕園(大)
23日(火)	"	18:30~21:00	東混練習場
30日(火)	"	"	"
6月3日(土)	OB四連「合同曲」練習	13:00~16:30	東京文化会館リハーサル室・No.1
6日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場*
10日(土)	"	14:00~18:00	奉仕園(小)
13日(火)	"	18:00~21:00	東混練習場
17日(土)	15:00~18日(日)15:00		稲グリ「強化合宿」河口湖・コニシ*
20日(火)	練習	18:00~21:00	東混練習場
27日(火)	練習	18:00~21:00	東混練習場*
7月4日(火)	"	"	"
9日(日)	OB四連「合同曲練習」	13:00~16:30	東京文化会館リハーサル室・No.1
11日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場
15日(土)	オケ合わせ	14:00~18:00	奉仕園(大)
16日(日)	"	13:00~17:00	"
18日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場
22日(土)	ゲネプロ	14:00~17:00	プレイス24*

23日(日) 第7回東西四大学OB合唱連盟演奏会
13:30 開演予定 東京文化会館

*=指揮者・堀俊輔さん出席

5月17日(水)	OB四連マネ会	19:00~	M物産会議室
26日(金)	稲グリ「幹事会」	午後7時~	場所未定
6月24日(土)	「現役東西四連演奏会」		
25日(日)	"	両日とも	東京文化会館
7月1日(土)	大阪稲グリ・坪井会長次女ご結婚	午後三時~	千葉市共済会館
8日(土)	「第2回大学OG合唱団合同演奏会」		サントリー大ホール
10月22日(日)	早稲田大学「校友大会」	特ステ出演	大隈庭園
12月3日(日)	「平成元年度・総会」		
	「第8回グリークリスマス」		私学会館

第7回OB四連

よい席は、お早めに!

指定席、各団割当て少なく、即完売の恐れ

稲グリは各年度ご予約受付開始 五月末締切!

OB四連マネ 清水 実(三三八)

つと六十名でした。今年は頑張つて始めから練習六十名体制で臨みたいと思っております。堀指揮者もこの合宿にかけています。万難を排してご参加くださるよう再度お願いいたします。なお、大阪メンバーその他の諸

兄のご参加、大歓迎です。直接私か、又は年度幹事などを通じてお申し込みください。練習場にも案内書と申込書があります。
「連絡先」
(自)〇四七四一六一一〇三六
(勤)〇三二二四三二二六二八

幹事会の招集

次により幹事会を招集します。
五月十四日 幹事長 加藤晴生
各幹事殿

記

- 五月二十六日(金)午後七時
- 場所・未定
- 議題
- ①OB四連に向けて
- ②ソ連演奏旅行について
- ③その他

合同ステージ演奏曲変更

「竹田の子守唄」↓「音戸の舟唄」
前号でお知らせした合同ステージ演奏曲のうち、三番目の「竹田の子守唄」が都合により「音戸の舟唄」に変更になりました。曲順変更なし。楽譜は五月二十日頃までに各団に届く見通しです。

練習状況

GWも終わり、いよいよ一心不乱に歌うべき時が到来。練習指揮者の一人・山本正洋さん(五七)の言葉やヤバイです。皆さん、このままじから。通勤途上もウォークマンで聞き覚えするなり各自努力してください。一言もなし。ガンバリ!

出席の記録

	4/25	5/2	9	13
T ₁	10	8	11	6
T ₂	9	11	11	6
B ₁	7	6	8	5
B ₂	12	14	16	8
	38	39	46	25
50年以降(5)	(7)	(9)	(6)	

「ハミダシ情報」稲グリ事務所が福井ビルの上階から七階へ移転。近日中に調度類も完備し、事務の効率の大幅アップが期待されている。乞御期待。

1989年稲門グリークラブ
「ソ連演奏旅行」日程(案)

4月29日(日)	12:00	成田発	着
	17:25	モスクワ	着
30日(月)		行動未定	
	23:55	モスクワ	発
		(列車)	
5月1日(火)	08:25	レニングラ	着
		ード	着
		行動未定	
2日(水)		「レニングラ	
		ード公演」	
3日(木)	12:50	レニングラ	着
		ード(列車)	着
	17:20	モスクワ	着
4日(金)		「モスクワ	
		公演」	
5日(土)	19:05	モスクワ	発
6日(日)	09:40	成田着	



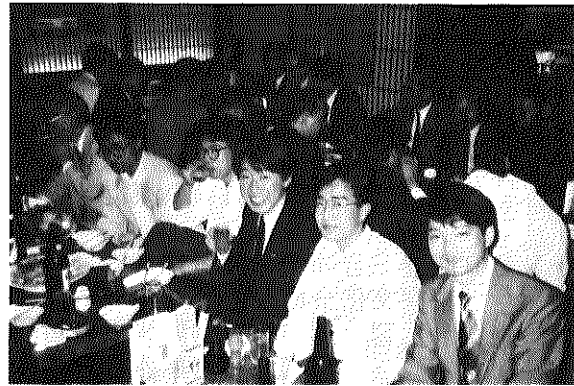
来年の五月ゴールデンウィークを利用しての稲グリ「ソ連演奏旅行」について、五月十四日現在ま

ソ連
演奏旅行

全ソ音協から、まだ返事なし

幹事会、来年五月GWの予約に踏み切る

だ「全ソ音協」からの具体的な返事が無いが、幹事会としては、準備期間として既に一年を切っ



▲やっぱり若い! 右から西沢、山下、魚住、木村、早武の諸君

新旧入り乱れ大いに歌う

《平成元年新OB歓迎会》



今年初の試み「新OB歓迎会」が五月九日、お馴染みの「庄や」にて開催された。新年会と同様、座敷を広く設営してもらったので、一大宴会である。八時過ぎには練習を切り上げ、皆会場へ。中には、この会があることなど知らず、「何はともあれ、いっつもより長時間飲めることはよいことだ」と言う不謹慎なメンバーも。一方、招待の声に答えて来てくれた新OBは魚住、木村、西沢、早武、山下の諸君。元来人数の少ない学年なので高い出席率。彼らのほかにもこの会のことを気にかけてくれた店の仕事等の都合がつかず、直接は諸君もいたりして、主催者側としては嬉しかった。後から駆けつけ組も

OB名簿改訂

年度幹事の皆さん、訂正名簿の提出はすぐに!

早大グリーOB会名簿編集委員長 長尾 要(二四)

OB会名簿は、昭和六十一年十二月に改訂以来相当の異動も出ている模様なので、本年度改訂する

しまったことから、飛行機、列車、ホテルの予約手配を独自に開始した。

今月中には先方からの返事があるものと見込まれるが、あるいは長い交渉期間になることも予想され、また、旅行の時期がゴールデンウィークの観光シーズン中であるので、早めに手を打っておこうというもの。(五月九日の練習出席者幹事会で承認。)

費用としては、一人三十九万円という線が出ていますが、これは鋭意あらゆる交渉をして下げていく努力をすることとなる。

旅行日程は、全ソ音協との直接の詰めが終わらないと確定とはならないが、およそ別表の通り予約している。

いて、座敷だけでは収容し切れず、テーブル席まで使う程の大盛況であった。新OBが自己紹介した後は、大いに飲み、語り、ついでに歌うはずが後半はやはり歌一辺倒に。新OBと稲グリ若手が「十の詩曲」を歌えば古顔は「レイロロード」で応酬し、「最上川舟唄」「ライド・ザ・チャリオット」では、稲グリが誇るソリスト達が、互いに譲らず皆ソロのパートを歌っている始末。「ハモって

いない。ちゃんと言をとって歌え!」「声が荒れている。『はる友』で整えて『栄光』で締めろ!」などと叱り立てる程で、結局十曲近く歌った。最後は「フレンドフレンド」の胸上げエールのおまけがついて盛会のうちに終了。新OB諸君には、今後のご活躍を祈念するとともに、稲グリがいつても諸君一人一人を歓迎することを覚えていて、歌いたくなったら顔を覚えてほしいと思うばかりである。

この姿勢はまねすべきものと思います。(S)

堀俊輔さん(五〇)

アマチュアオーケストラの雄

「ワセオケ」を振る!

稲グリ指揮者の堀さんはいま、アメリカで指揮の武者修行中であるが、五月末帰国の後、今度は六月十日に早稲田大学交響楽団の定期演奏会のステージに登場する。ワセオケといえ、日本の主だった指揮者を始め、あのカラヤンも振るという名門。十日(土)の練習の後には練馬に直行して、ブラボ!コールで応援しよう!

堀さんの談話

「これで合唱のグリークラブ、オーケストラのワセオケ、ビッグバンドのハイソと早稲田の三大牙城を制覇しました。母校の音楽団体の指揮台に立つことはある意味で一番困難なことなので、ラッキー!」

早稲田大学交響楽団
定期演奏会

シューベルト	交響曲第6番
モーツァルト	歌劇「後宮からの逃走」序曲
ベートーベン	レオノーレ第3番
ウェーバー	歌劇「魔弾の射手」序曲
ワーグナー	歌劇「ニュールンベルクのマイスターシンガー」序曲

平成元年6月10日(土)午後6時30分開演
練馬文化センター大ホール(西武池袋線・練馬駅前)



壮大な新音楽創りに参加した喜び

オラトリオ「ヤマトタケル」に出演して

T. 田中 弘文(三四)

ボニージャックス結成三十周年記念の超大オラトリオ「ヤマトタケル」愛と平和への出発(たびだ

中継車

五千人の大合唱と飛び交う歌い切ったことほ絶えぬ光輝。オラトリオ「ヤマトタケル」は、音

楽にはなまじまいとされて付、鷹派の表現力、五間の歳月をかけて練り上げた両国国技館の広い空間を貫き、新しい音楽文化を生み出した。功績の第一は、二つのオラトリオを巧みにコント

ラストを巧みにコント

日本初の本格オペラ公演

岡村さんは主役「青ひげ公」で

青ひげがひたすら求めるのは理想の女性。彼の妻殺しの噂にもめげず、家族も婚約者も捨て去りユ

七つの扉。愛する青ひげのため城に光を入れ、すべての扉を開け放ちたいユードイットは鍵を出して

と迫る。ひたむきな女心にほだされ次々と与える青ひげであったが



Takao Okamura

そのそれぞれの扉の中にユードイットは何を見たか!
他に類のない、エキゾチックで民族色に溢れるバルトークの音楽を日本語で演じる初の本格オペラ。神奈川在住のOB必聴。

バルトーク作曲
オペラ「青ひげの城」
ユードイット……西村 明美
青ひげ……岡村 喬生

演出……実相寺昭雄
演奏……東京交響楽団
7月2日(日) 藤沢市民会館
午後2時開演
全席指定 A 1400円
B 1100円
C 800円
稲グリ担当……遠藤(三七)

第38回 東西四大学合唱演奏会
1989年6月24日(土) 東京文化会館大ホール
昼の部12:30開場/13:00開演 | 夜の部17:30開場/18:00開演
S(指定)1600円/A(自由)1000円 | SS(指定)2500円/S(指定)1600円
/A(自由)1200円

同志社グリー「月光とピエロ」	指揮：福永陽一郎
慶応ワグネル「Liebes Lieder」	指揮：畑中 良輔
関学グリー「コターイ男声合唱曲集」	指揮：北村 協一
早大グリー「さすらう若人の歌」	指揮：小林 研一郎
合同ステージ 歌劇「タンホイザー」より	指揮：畑中 良輔

■問合せ=早大グリー事務所 ☎03-208-4100

そしてこの音楽演出を一層盛り上げたのが新舞踏グループの巫女の踊り、荒ぶる男達の踊り、五〇〇人の合唱団のペンライトの燈、大スクリーン映像、レーザー光線等々であり、クライマックスは市川猿之助が白鳥(ヤマトタケルの魂)となつて国技館の空中を宙づり舞うという舞台演出であった。

既存の音楽ジャンルを超えた壮大な規模の演出構成をした、なかにし礼とこの日の大コンサートを実現した総合プロデュースの西脇久夫に大賛辞を贈りたい。

ボニージャックス結成三十周年おめでとう! 今後ますますの新たな音楽活動を期待する。(文中敬称略)

(たなかひろふみ・元幹事長)

六大学OG合唱団第2回合同演奏会

I 聖心女子大学グリークラブOG会 「三声のミサ曲」より 指揮：渡辺宏子	IV 桜楓合唱団 「秋来ぬと」(梁塵秘抄より) 指揮：田中信昭
II 桜友女声合唱団 女声合唱組曲「秘密の花」より 指揮：外山浩爾	V 学習院輔仁会音楽部OB会女声合唱団 「マザーグースの歌」より 指揮：福田一雄
III 女声合唱団しおん In The Still of The Night 指揮：北村協一	VI 慶応ワグネルOG合唱団 「フォーレ合唱曲集」より 指揮：北村協一

VII 合同演奏「唱歌の四季」指揮：田中 信昭

1989年7月8日(土) 午後2時開演 サントリー大ホール
全席指定：A席=2,500円、B席=2,000円、C席=1,500円、P席=1,000円

【ハミダシ編集後記②】田中さん(三四)と違い、「ヤマトタケル」の時は舞台裏の「森の中」。しかし、とても貴重な体験であったことも確かです。協力してくれた岡、土岡両OB担当マネに感謝!(S)

【ハミダシ編集後記③】好い季節になってきたのに、不注意から風邪をひきました。失ってから気が付く日頃の健康の有り難さ。早く完治させてガンガン歌いたい私です。(S)

まよしく「魅惑の宵」

第三十八回東京六連を聴く

現役担当マネ 佐々木 豊(五九)



五月四日の夕刻、今年我々が東西四連OBでもお世話になる東京文化会館へ、現役六連を聴きに出かけた。連休の中日でもあり、事前の情報ではチケットの売れ行きが芳しくないとのこと、客入り心配されたが、蓋を開けてみれば超満員。開場後もホールの前には長蛇の列ができていく程で、結局は記録的な大入りであったという。

この日、我が早稲田大学グリークラブは一番手で登場し、プロトドゥエイ・ミュージカルの「南太平洋」から「魅惑の宵」(バリ・ハイ)等の耳に親しい六曲(編曲・指揮/福永陽一郎)を演奏。四年前の東西OB四連でクローバークラブが演奏しその演奏効果の高さは証明済みである。

福永氏が近年とみに重視している「合唱団、聴衆の双方に歓迎される選曲」という方針にピッタリであると言える。今回は、衣装・照明・装置・演出などで凝ることは一切無かった。しかし、福永氏の巧みな指揮、久邇之宜氏の相変わらず見事なピアノのタッチ、続々と登場するソリストの競演、なかなかのバランスが醸し出す豊かなハーモニーに聴衆は惜しみない拍手と「ブラボー!」の嵐(後者はおもにOBが中心。各校とも同様)を送っていた。惜しむらくは、ソリスト、バックのいずれの音量にも問題があったか分からないが、ソロのメロディーで聞こえにくい箇所があったことであろうか。この日について言えば、エールも

比較的安定していたが、「A」の母音がやや浅く感じられた点をこの場で指摘しておきたい。現役諸君には後で録音という物的証拠をもって確認していただければ幸いである。各校に目を向けると、畑中慶應はフォーレの歌曲、前田東大はミサ、北村立教は多田武彦、田中法政は超現代風、外山明治は邦人委嘱初演と例の如く、どこも意固地なまでにそのカラーを守っている感じであった。終演後は稲グリのメンバー数人で上野駅近くの「ライオン」で演奏会の余韻を肴に飲むことになったが、何と既に上機嫌になっていた福島さん(五五)が店内に! 聞けば、中盤で挫折して? 抜け出して飲み始めたとの由。連れに同期の清野耕一さんとそのフィアンセとおぼしき美人・杉山理絵さん。福井会長以下が早速、「稲グリにも出て来ないか?」「ご結婚はいつ?」等々詰問攻勢。お二人が目を見詰めていた中、上野の夜は更けていった。

母校・早稲田は今

いかに...

平成の世になって「昭和は遠くなくなりけり」という気もする昨今ですが、稲グリ常連メンバーも含め、大多数のOB諸兄には、「早稲田は遠くなりけり」というのもまたひとつの実感ではないかと思えます。七年前に創立百周年を迎えた母校

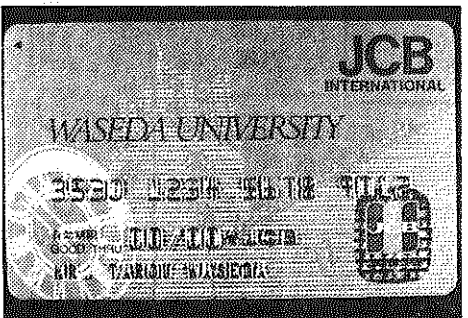
は、やがて来る十八歳人口の減少による私学サバイバルの時代を前に、さまざまな研究教育活動を展開していく使命があります。何をしておいても心強いのは全国、いや世界に散らばった校友の理解・声援を得られることにほかならないでしょう。

...など難しい言い回しはさておき、たまには早稲田通りや大学キャンパスの変貌ぶりを見に行きたいと思いませんか? 私言いたいのは、幸い(?)週末の奉仕園での練習もありますし、近郊のOB諸兄には絶好のタイムトラベルになるでしょう。

35万人OB対象

早稲田大学は大手クレジット会社と提携し、OBを対象に大学施設の優待利用やホテルの割引など特典付きの「早稲田カード」を今年九月から発行すると、十一日発表したが、本格的な提携カードの発行は同大が初めてという。早大の三十五万人近い卒業生のうちOB組織「校友会」の会員になっているのは六万人。

特 W大カード



人。薄れつつあるOB間の連帯感を強めるのと、大学の財政援助になれば、と「二石二鳥」を狙ったもの。カードはJCB、VISAなど銀行系大手クレジット会社と提携、通常のカード機能に加え、公開講座の受講料が割引されるほか、人気度の高い早稲田大学総合企画室などの入場券も優先的に手に入る。

「財政援助、連帯感も強める」と発行

▲(毎日新聞 5月12日)

大阪稲グリだより

大阪では、来たる五月二十七、二十八日の土・日に和歌山県橋本市の紀伊見荘にて春の合宿を行う。練習曲目は、六月十一日の合唱祭用の「故郷の雲」(山路洋平32訳による日本語版)ほか「ウエストサイド・ストーリー」のコンクール曲等。案内のパンフには、持ち物に楽譜が入っておらず、キャッチフレーズは「全員参加でハードにキビシク: 飲みましょう!」とある。これを見た東京側首脳は、「泥酔することなく合宿の成果を上げ、七月の四連には合同ステージだけでもよいから参加してほしい。ただし、「ウエストサイド」の経験者である市橋さん(五〇)、浅野さん(五二)、柿沼さん(五三)らは稲グリ単独ステージに乗ってもらえるものと信じたい」と懇願気味に語っている。

「声患(わすらい)の記」

T:長尾 要(二四)

昨年二月、木更津第九から喉の調子がおかしくなり、暮れから医者通いを始めた。ガン? ポリプ? 一番頭にあったのはこれである。鼻と喉に麻酔をし、ファイバースコープで丁寧に診察をしてくれた。「腫れもポリプもありません。声帯が炎症を起こしてブヨブヨになっています。時間がかりそうですが治しましょう。当分出来るだけ声を出さないで」。正直いつてホッとした。また歌えるようになる。以来五ヶ月、医者の言うことを忠実に守り、治療に専念している。今月に入り少しずつ発声練習をするように言われた。五分出して五分休む、これを何回か繰り返して様子を見る。そしてだんだん時間を長くする。自分でも少し声に張りが出てきたかな? と思えるようになってきた。

しかし、今度の四連は無理だろう。楽譜とテープで何とかと思ったが、土台声が出せなければ無理なこと。こうなったら完全に良くなるまで徹底的に治療してやろうと思っている。治った時皆がアツと驚くほどの美声になつていた! などと夢を描がきながらセンセと医者通いをしている。病名「慢性声帯炎」。

大学生活をエンジョイする情報がいっぱい!

WASEDA KOHO

安部球場跡が

91年には

早稲田大学の

キャンパス情報

早稲田大学の歌

入試情報

044(245)2400

0474(32)2400

03(236)8100

044(245)2070

STUDENT LIFE '89

早稲田大学

発行

